

「新規事業に挑む～ピンチこそチャンス～」

コンニャク臓器で手術トレーニング革命を！町工場からベンチャー創業、世界へ

KOTOBUKI Medical 株式会社は、人体組織の特徴を精巧に再現したコンニャク由来の模擬臓器(VTT)で知名度を伸ばしているベンチャー企業です。同社は、埼玉県八潮市で40年以上続く町工場、寿技研(金属・樹脂加工やラジコンタイヤ部品製造)から、手術トレーニング用部品を独立する形で2018年に設立されました。自社で開発したVTTはそのポテンシャルを高く評価され、2020年には世界最大手の医療機器メーカーとの契約を次々と実現しました。同じく自社開発の腹腔鏡トレーニングボックスとVTTを携え、「手術トレーニング用品といえばKOTOBUKI」と世界で通用する未来を目指して、挑戦を続けています。

○講演では、経営危機の状況下において新規事業開発に挑戦しようと決断された経緯、自社製品による医療関連機器の展開・新法人設立の経緯、また、銀行融資以外の資金を活用することでチャレンジを加速できたこと、さらには同社が「すべての人が安心して手術に臨める社会をつくる」ことを使命として取組む世界市場への挑戦の状況等についてお話いただきます。

○小さな町工場である同社がチャレンジしてきた様々な取組みを知ることで、自社の強みを今一度見つめ直す機会として、そして、新規事業に挑戦するためのヒントを得る機会として、多くの方のご参加をお待ちしております。

主な内容

- 町工場からどのようにしてVTTが生まれたのか
- 可能性を信じてチャレンジする
- 事業を通じて世の中の役に立つ



講師プロフィール 高山 成一郎 氏 (たかやま せいいちろう)

1968年東京都生まれ。室蘭工業大学機械工学科中退。大学在学中に父が倒れて退学、家業である寿技研に入社。以後、自動機製作、金型、機械加工等の現場、設計など幅広く経験を積み、現在の製品開発に活かす。2005年、寿技研代表取締役役に就任。18年、寿技研から手術トレーニング用部品が独立する形で、KOTOBUKI Medical を法人化。腹腔鏡手術トレーニングBOXをはじめ、コンニャク由来の模擬臓器「VTT」によって知名度を伸ばしている。



- 日 時 令和6年7月3日(水) 15:00~16:30
- 講 師 KOTOBUKI Medical 株式会社 代表取締役 高山 成一郎 氏
- 会 場 ソニックシティ9階 906
- 定 員 60名(先着順・参加費無料) <会員限定>
- 申込方法 本会 HP よりお申込みいただくか、または FAX にてお申込みください。

貴社名	TEL	
所属・役職名	氏名	メールアドレス